



▲感謝の気持ちを込めて歌います

ライマ市、天津市和平区へ～広がる交流の輪～

国際的な相互理解と人材育成などを目的に、アメリカ合衆国オハイオ州ライマ市へは7月23日(金)から中学生16人が、中国天津市和平区へは8月19日(木)から小・中学生6人が訪問しました。それぞれの訪問先では歓迎会や、学校訪問などで温かい歓迎を受け、交流の輪を広げました。



▲第20中学の生徒たちと共に

歴史博物館を見学し、ライマ市の歴史を学びました。また、地元テレビ局を見学。インタビュアーを受ける場面も見られました。

博物館などの見学

ホームステイ体験
公募による市内の中学3年生16人が、家族の一員として4泊のホームステイをしました。対面式では、初めは緊張していましたが、ホストファミリーや市民の温かい歓迎を受け、すぐに打ち解けてそれぞれの受け入れ家庭に向かいました。

ホームステイ体験



ライマ市の面積は33.27km²、人口は約4万6,000人でアレン郡の中心都市です。平成8年5月、初めてのライマ市からの訪問をきっかけに交流を深め、平成11年3月に播磨町と姉妹都市提携を結びました。

アメリカ・オハイオ州ライマ市

さよならパーティー

残念ながら雨が降り、予定していた公園へのピクニックはできませんでしたが、ホストファミリーやライマ姉妹都市協会員が数多く集まり、にぎやかなパーティーとなりました。

訪問団は「節分で鬼に投げつけるものは？」などの日本年中行事クイズ、「世界に1つだけの花」の合唱をし、ライマ市の方々からはコーラスを聞きまし

最後に、七宝焼のプレートとメッセージを書いた額を贈り、感謝の意を表しました。



▲仲良く懇談しながら食事中

ライマ姉妹都市訪問回来町

10月28日(木)から19人のライマ市訪問団が来町されます。歓迎会を開催しますので、ぜひご参加ください。

- ▶日時 10月30日(土) 正午～午後2時
- ▶場所 健康いきいきセンター
- ▶参加費 1,000円(軽食あり) 中高生500円
- ▶申し込み 播磨町国際交流協会 ☎0794 (35) 0356



天津市は4大直轄市の1つで人口は約1,000万人。和平区はその中央に位置し、面積は約10km²、人口は約50万人。住民同士の交流がきっかけで交流が深まり、平成5年3月に友好都市提携を結びました。

中国天津市和平区

熱烈な歓迎

大辻教育長を団長とし、中学生2人、小学6年生4人と随行者3人の計10人が和平区を訪問しました。今回で4回目となる訪問ですが、歓迎会や学校訪問など、行く先々で熱烈な歓迎を受け、交流を深めました。

学校訪問



▲切り絵を見学(岳陽道小学校にて)

播磨町の小・中学校と友好校である第二十中学、第二十一中学、岳陽道小学を訪問し、生徒同士の交流を深めました。



▲一緒に作った発電所

少年宮とは、放課後自主的に学習する施設で、音楽・絵画などの芸術・芸能から科学的な分野、スポーツ、語学など様々な学習が展開されています。訪問団は「手のひらを太陽に」などの歌を披露。また、工作室で発電所の模型作りに参加しました。言葉は通じなくても身振り手振りで心を通わせ、楽しい交流が生まれました。

和平区少年宮活動見学

各校では、和平区の学校教育の取り組みや、学校の歴史、特色などの説明を受けた後、楽器演奏や絵を披露していただき、プロのような腕前に感嘆させられました。

友情の証

播磨中学校3年 村松愛美さん
小学生に日本のお金を見せると、じっと見つめていました。その時、4年生くらいの子が一元硬貨を差し出してくれました。私が慣れない中国語で「ありがとう」と言うと、照れた笑顔を私に浮かべました。私も日本の硬貨をあげました。今、女の子からもらった硬貨は大切にしまっています。大事な友情の証だからです。

伝わる喜びを実感

播磨中学校1年 石川まきさん
小・中学校の生徒たちが、とても歌や踊りなどがうまくてびっくりしました。それは小さいころから厳しい練習をしたからだと聞いて、とても感心しました。しゃべったりもしました。言葉は全然分からなかったけれど、身振り手振りで伝わったときはとてもうれしかったです。

熱心な生徒たちに感心

播磨北小学校6年 田淵和さん
学校を訪問したとき、中国の人は、何か一つのことをたくさん勉強して、練習しているんだなと思いました。言葉が通じなくても、身振りで伝わるということが面白い物に感じました。

すばらしい生徒たち

蓮池小学校6年 柳田若菜さん
和平区の学校は、広くてきれいで、生徒はすばやく行動していて、私たちの学校もこんなきっちりしていたらと思いました。習字でも絵でもとても上手でした。

驚きの連続

蓮池小学校6年 菊井佑夏さん
和平区の様子は、まず自転車が多くてびっくり。バスに乗っていてもとても危なかったです。中学校は、室内プールや体育館の設備も本格的です。いいなあと思いました。生徒さんも、楽器や踊り、絵や習字、歌、プロのようにうまくて、私たちも負けてられないなあと思いました。

毎日が漢字テスト

播磨小学校6年 小枝菜摘さん
少年宮では自分の得意なことを一生懸命練習していました。小さいころからがんばって練習してきたのがよく分かりました。言葉は身振り手振りや、漢字を書いてくれました。だから、毎日漢字のテストの気分でした。でも、言葉は通じなくても案外伝わるんだと感じました。

人の温かさがよく分かった

播磨中学校3年 佐伯恭子さん
最初、うまく話せるか、仲良くできるかと不安と緊張でいっぱい。でも、笑顔で迎えてくれてとてもうれしかったです。

ライマ市の人は、とても優しく心の温かい人ばかりでした。

お別れの日、私は「ずっとここにいたい」と泣きました。すると「泣かないで。絶対また会えるよ」と涙を拭いてくれました。今回、ライマ市へ行って、人の優しさや温かさがありがたみよく分かりました。言葉が分からなくても、心は通じるといふことも思いました。

今度自分がホストになって、ゲストの人を楽しませてあげたいです。

何でも大きいアメリカ

播磨南中学校3年 喜多祥子さん
アメリカの生活習慣は、自分の知らないことがたくさんあり、驚かされることばかり。一番驚いたのは、何でも大きいということだ。他にもたくさんの異文化に触れることができて勉強になった。ホストファミリーの方も、折り紙や日本のお土産を見て、興味を持ってくれてよかった。

言葉は分からなくても心が通じ合えたと思う。これからもライマ市との交流が続いてほしい。